

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 2 - ①

健康づくりを推進する

目指す姿

- 若い年代から健康を維持増進するため、自ら進んで食生活や運動習慣の改善を図り、一人一人が仕事や趣味、家庭生活を充実しながら心身ともに健やかな人生を歩んでいます。

成果指標の達成状況

指標名		実績値					目標値
		計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
がん検診の受診率	胃がん	2.1%	2.0%	1.5%			2.6%
	肺がん	14.1%	14.0%	14.6%			16.6%
	大腸がん	7.7%	8.4%	7.7%			10.2%
特定健康診査★ ¹ の受診率		36.4%	36.7%	37.5% 【速報値】			41.4%

★¹ 平塚市国民健康保険が40歳から74歳までの被保険者に対して実施する、内臓脂肪の蓄積に起因した糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の発症・重症化の予防改善を目的とした健康診断のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・各種検診、生活習慣病予防に関する教室を実施するとともに、商業施設での乳がん検診や集団がん検診においてウェブ予約を実施するなど受診しやすい環境を整えたほか、内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施しました。また、職域と連携し働く世代に向けた講座やフレイルチェック測定会を実施しました。
- ・給食食材に平塚産野菜等を使用するように努めるとともに、児童・生徒の正しい食事の知識や望ましい食習慣の習得につなげるため、食に関する指導を実施しました。
- ・血管撮影装置や輸血管理システムなどの高度医療機器を導入しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 各種検診、特定健康診査及び特定保健指導の受診率向上を図る必要があります
⇒ 各種検診等において、多様な受診機会を増やすなど、受診しやすい環境を整備するとともに、受診の必要性を普及啓発することで、受診率向上を図ります。
- ・ 食に関する指導について、ニーズや新たな課題に対応する必要があります。
⇒ 給食食材に地場産野菜等の使用、食育ネットワークを充実するとともに、栄養士研修会を実施し、栄養士の質的向上を図ります。
- ・ 先進の医療水準を確保するとともに、災害時に医療拠点病院としての機能を発揮させるほか、市民が切れ目ない医療を受けられる体制づくりが必要となります。
⇒ 経営状況や医業収益とのバランスを考慮し、高度医療器械等を整備するとともに、被災状況に応じた実践的な訓練を実施するほか、地域の医療機関等と連携した医療を提供します。

関連事業

健康増進事業、特定健診・特定保健指導事業、休日・夜間救急医療推進事業、食に関する指導事業、学校給食地場産野菜等使用推進事業、高度医療器械等整備事業、災害時医療提供推進事業